

(4) 【報告】 整備事業 17 地区

【事業名】	【地区名】	【市町村名】
①農地耕作条件改善事業	介良沖ノ丸	高知市
②農地耕作条件改善事業	藤ノ川 2 期	四万十町
③農地耕作条件改善事業	南川口 2 期	四万十町
④農地耕作条件改善事業	檜生原	四万十町
⑤農地耕作条件改善事業	東北ノ川	四万十町
⑥農地耕作条件改善事業	影野 3 期	四万十町
⑦農山漁村地域整備交付金 水利施設整備事業	高知市東部 5 期	高知市
⑧農業水路等長寿命化・防災減災事業	古川	香南市
⑨農業水路等長寿命化・防災減災事業	江ノ村	四万十町
⑩農業水路等長寿命化・防災減災事業	蕨岡	四万十町
⑪農業水路等長寿命化・防災減災事業	佐喜浜	室戸市
⑫農業水路等長寿命化・防災減災事業	奈半利	奈半利町
⑬農業水路等長寿命化・防災減災事業	相名	馬路村
⑭農業水路等長寿命化・防災減災事業	高須	高知市
⑮農山漁村地域整備交付金 水利施設整備事業	七里	四万十町
⑯農村地域防災減災事業	山田	香美市
⑰農村地域防災減災事業	中山田	香南市

[説明者：農業基盤課（整備事業担当）]

【質 疑】

(委員)

介良の畦畔除去について、従前の境界は確定しているのか。

(事務局)

事業を実施する際に関係者の立会のもと境界を確認し、測量することになります。

(委員)

境界測量を実施した場合、測量費の追加により事業費が増加するのでは。

(事務局)

測量費も込みでの事業費となっています。

(委員)

排水機場の補修についてですが、補修ということは、本体は残したまま悪いところだけを直すということだと思います。写真を見ますと、非常に古いものも含まれていて、減価償却が終わっているものに対して、補修できるのかという疑問があります。また、部品がない場合は更新も考えなければならないと思いますがどのように対応されているのでしょうか。

(事務局)

長寿命化対策のため、できる限り補修を行うことが基本となりますが、部品が製造されていないものは、同等の機能を有したものに更新をします。

(委員)

排水機場もそうですが、頭首工についても機械系、メカニカルの部分は、老朽化が進行すると、取り替えが必要だと思います。特に電機系統は、おおむね20年使用すると取り替えが必要となると思います。

結局、部品の問題もそうですが、ライフサイクルコストをちゃんと見て、それで補修なのか更新なのか、判断されているとの認識でよろしいか。

(事務局)

はい。この事業について、施設の点検・結果を踏まえた機能保全計画を策定し、その計画に基づいて対策を実施をしています。ライフサイクルコストも踏まえた上で、実際に補修か更新を検討し、工事を実施しています。

(5) 【報告】整備事業 9地区

【事業名】	【地区名】	【市町村名】
①ため池整備事業	内原野池	安芸市
②ため池整備事業	田野	田野町
③農業水路等長寿命化・防災減災事業	奈半利	奈半利町
④地すべり対策事業	土佐町	土佐町
⑤地すべり防止事業	横矢	高知市
⑥ため池整備事業	宿毛1期	宿毛市
⑦ため池整備事業	大方	黒潮町
⑧ため池整備事業	土佐山田	香美市
⑨ため池整備事業、農村防災施設整備事業	築池	越知町

[説明者：農業基盤課（防災事業担当）]

【質 疑】

(委員)

内原野ため池についてですが、B/Cが5.19と非常に高いが何か理由があるのでしょうか。

(事務局)

被害想定額が基本的には大きいというところになります。

(委員)

軽量盛土を行うということですが、満水時、満水で想定しているときのその余裕の高さは、実施する軽量盛土の高さと被りますか。

(事務局)

今回、軽量盛土で行う箇所については、常時水位より上であり、水の影響受けないところで行います。

(委員)

ため池関係の全般的な話です。特に、西の方は良質な刃金土がなかなか手に入らないことが多いというのは聞いています。どのような状況でしょうか。

(事務局)

基本的には、その刃金土、粘土質の土により水を遮水するということを考えていますが、どこも土がない場合は、粘土質のシートで遮水する、ベントナイトシートを採用するように考えています。

旧の堤体を段切りして、活着をよくし、その部分にベントナイトシートを敷くという計画になっています。

(委員)

ため池など防災事業の中でのB/Cについてですが、先ほどの内原野池はB/Cが高く出ていますが、奈半利の2池は、結構被害想定よりも工事費が大きくて、B/Cに触れてない地区もありますが、そのB/Cは事業要件として影響するのですか。

(事務局)

ため池については、基本的に農村地域防災減災事業で整備するように考えています。本事業で整備する場合は費用対効果として1以上が必要となります。

一方、奈半利については、B/Cが1を上回っておりませんが、防災上必要なものにはなりません。農業水路等長寿命化・防災減災事業であれば実施が可能なため、奈半利は、こちらの事業を利用させていただくことにしております。

(委員)

次回からはB/Cを書いた上で、例えば注釈を付けて、こういうことだから実施するというふうにした方がいいと思います。

(事務局)

分かりました。

(委員)

防災重点ため池から優先的に改修を始められると思いますが、令和6年度は、これぐらいに着手し、今後は、これぐらいの数がコンスタントに出てくるものなのか。また、防災重点ため池の数は、どのくらい残ってるのか教えていただいてよろしいですか。

(事務局)

215池ある中で40池が完了しています。令和5年度末で、さらに9池が完了予定であり、49池が今年度中に完了する見込みです。215池から49池を差し引いた数が残っている分になります。

(委員)

結構残ってますね。

(事務局)

本来はもう少し加速していかないと、いけません、財政上の制限などありますので、ハードマップなどの、ソフト事業も合わせて進めていくように考えてます。

(委員)

特に、気候が激化していくという中ですので、ぜひ迅速をお願いします。

(事務局)

はい。